学校番号	T0106

平成 31 年度　外国語科

教科	外国語	科目	英語表現Ⅰ	単位数	２単位	年次	４年次
使用教科書	ECHO English Expression Ⅰ（三友社出版）						
副教材等	教科書の内容に関連した別教材						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・英語の語彙や文法については、実際のコミュニケーションでどのように使われるか、ということを意識して学習することが大切です。常に「英語を使う」ことを意識して学習しましょう。
・音読は外国語学習の中でとても大切な練習の一つです。英語のリズムやイントネーションに気をつけ、聞いている人にきちんと伝わるような音読を心がけましょう。

2　学習の到達目標

①話すこと		②書くこと		③聞くこと		④読むこと	
学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価
・前もって準備した上で、日常的な事柄について基本的な語や表現を使って、複数の文で描写することができる。	観察	・簡単な語や基礎的な表現を用いて、身近なこと（好きなもの嫌いなもの、学校生活など）について複数の文を書くことができる。	ハンドアウト 考査	・ゆっくりはっきりと発話される、基本的な語句や表現からなる３文程度の英文の内容を理解することができる。	ハンドアウト 観察	・基本的な語句や表現から構成される１～３文程度の英文を文法事項などの知識も活用して内容を的確に読み取ることができる。	ハンドアウト 考査 観察

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識理解
実施方法	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているかを的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「話すこと」と「書くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「話すこと」と「書くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解しているかどうかを的確に評価できる方法で実施。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

４　学習の活動

<table>
<tr><th>単元</th><th>題材内容</th><th>単元の目標</th><th>主な学習内容</th><th>単元の評価規準</th><th>評価方法</th></tr>
<tr><td rowspan="8">Lesson 11
“Isn’t it lovely to watch the full moon?”
（４時間）

Lesson 12
“What do you think about anime in Japan?”
（４時間）</td><td rowspan="8">・不定詞が取り上げられ、日本の文化の一つであるお月見についての説明を通してその背景知識や他国での類似点について学習する内容。
・分詞が取り上げられ、海外でも人気のコンテンツとなっている日本のアニメについての歴史や有名作品の説明を通して、海外から注目を浴びている文化への理解を深める内容。</td><td colspan="4">「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」</td></tr>
<tr><td>・日本文化の内容に関心を持ち、積極的に聞いたり読んだりできる。
・文化の説明をするにあたり、積極的に表現できる。</td><td>教科書本文を用いて、日本語を確認しながら内容を理解する。</td><td>・日本文化の内容に関心を持ち、積極的に聞いたり読んだりしている。
・文化の説明をするにあたり、積極的に表現している。</td><td>机間指導を行い、生徒の様子を観察する。</td></tr>
<tr><td colspan="4">「外国語表現の能力」</td></tr>
<tr><td>日本文化について表現し、説明できる。</td><td>教科書本文やその問題を用いて、働くことについての説明や表現をする。</td><td>日本文化について表現し、説明できる。</td><td>・ハンドアウトを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
・定期考査の筆記テストにおいて判断する。</td></tr>
<tr><td colspan="4">「外国語理解の能力」</td></tr>
<tr><td>日本文化に関する表現を理解できる。</td><td>教科書本文を用いて、日本語を確認しながら内容を理解する。</td><td>日本文化に関する表現を理解できる。</td><td>机間指導を行い、生徒の様子を観察する。</td></tr>
<tr><td colspan="4">「言語や文化についての知識・理解」</td></tr>
<tr><td>・不定詞の働きを理解できる。
・分詞の働きを理解できる。</td><td>教科書本文やその問題を用いて、日本語を確認しながら文法事項や場面を理解する。</td><td>・不定詞の働きを理解している。
・分詞の働きを理解している。</td><td>・ハンドアウトを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
・定期考査の筆記テストにおいて判断する。</td></tr>
</table>

単元	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 13 “Stop smoking!” （４時間） Lesson 14 “Make this life free an beautiful.” （４時間） Lesson 15 “Language is culture.” （４時間）	・関係代名詞と関係副詞が取り上げられ、喫煙の危険性や平和の重要性、言語についての状況といった社会問題についての理解を深める内容。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・社会問題の内容に関心を持ち、積極的に聞いたり読んだりできる。 ・社会問題の説明をするにあたり、積極的に表現できる。	教科書本文を用いて、日本語を確認しながら内容を理解する。	・社会問題の内容に関心を持ち、積極的に聞いたり読んだりしている。 ・社会問題をするにあたり、積極的に表現している。	机間指導を行い、生徒の様子を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		社会問題について表現し、説明できる。	教科書本文やその問題を用いて、働くことについての説明や表現をする。	社会問題について表現し、説明できる。	・ハンドアウトを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。 ・定期考査の筆記テストにおいて判断する。
		「外国語理解の能力」			
		社会問題に関する表現を理解できる。	教科書本文を用いて、日本語を確認しながら内容を理解する。	社会問題に関する表現を理解できる。	机間指導を行い、生徒の様子を観察する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・関係代名詞と関係副詞の基本的な働きを理解できる。	教科書本文やその問題を用いて、日本語を確認しながら文法事項や場面を理解する。	・関係代名詞と関係副詞の基本的な働きを理解している。	・ハンドアウトを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。 ・定期考査の筆記テストにおいて判断する。

単元	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 16 “Table manners are different from country to country.” （４時間） Lesson 17 “We can be better friends.” （４時間）	・従属接続詞（従位接続詞）が取り上げられ、テーブルマナーについての学習を通して文化の違いを学習する内容。 ・比較表現が取り上げられ、他国と日本の違いについてのプレゼンテーションを通して、他国との関係性について学習する内容。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・異なる文化について関心を持ち、積極的に聞いたり読んだりできる。 ・異なる文化について説明をするにあたり、積極的に表現できる。	教科書本文を用いて、日本語を確認しながら内容を理解する。	・異なる文化について関心を持ち、積極的に聞いたり読んだりしている。 ・異なる文化について説明をするにあたり、積極的に表現している。	机間指導を行い、生徒の様子を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		文化の違いについて表現し、説明できる。	教科書本文やその問題を用いて、働くことについての説明や表現をする。	文化の違いについて表現し、説明できる。	・ハンドアウトを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。 ・定期考査の筆記テストにおいて判断する。
		「外国語理解の能力」			
		関係性に関する表現を理解できる。	教科書本文を用いて、日本語を確認しながら内容を理解する。	関係性に関する表現を理解できる。	机間指導を行い、生徒の様子を観察する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・従属接続詞（従位接続詞）の基本的な働きを理解できる。 ・比較表現の基本的な働きを理解できる。	教科書本文やその問題を用いて、日本語を確認しながら文法事項や場面を理解する。	・従属接続詞（従位接続詞）の基本的な働きを理解している。 ・比較表現の基本的な働きを理解している。	・ハンドアウトを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。 ・定期考査の筆記テストにおいて判断する。

単元	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 18 “If the world were a village of 100 people.” （４時間） Lesson 19 “Think Globally, Act Locally.” （４時間）	仮定法過去が取り上げられ、「もし世界が１００人の村だったら」を通して世界の状況を学ぶ内容。また、その他仮定法の形も学習し、世界で取り上げられている問題について考える。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・世界の状況に関心を持ち、積極的に聞いたり読んだりできる。 ・世界で取り上げられている問題を説明するにあたり、積極的に表現できる。	教科書本文を用いて、日本語を確認しながら内容を理解する。	・世界の状況に関心を持ち、積極的に聞いたり読んだりしている。 ・世界で取り上げられて居る問題を説明するにあたり、積極的に表現している。	机間指導を行い、生徒の様子を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		世界で取り上げられている問題について表現し、説明できる。	教科書本文やその問題を用いて、働くことについての説明や表現をする。	世界で取り上げられている問題について表現し、説明できる。	・ハンドアウトを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。 ・定期考査の筆記テストにおいて判断する。
		「外国語理解の能力」			
		世界で取り上げられている問題に関する表現を理解できる。	教科書本文を用いて、日本語を確認しながら内容を理解する。	世界で取り上げられている問題に関する表現を理解できる。	机間指導を行い、生徒の様子を観察する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・仮定法過去の基本的な表現を理解できる。 ・仮定法過去に関する様々な表現を理解できる。	教科書本文やその問題を用いて、日本語を確認しながら文法事項や場面を理解する。	・仮定法過去の基本的な表現を理解している。 ・仮定法過去に関する様々な表現を理解している。	・ハンドアウトを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。 ・定期考査の筆記テストにおいて判断する。